

署名提出緊急院内集会 主催・遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーン

1月29日 衆議院第一議員会館

すべてのゲノム編集食品の規制・安全審査・表示を求めました



グリーンコープやまぐち生協の竹田さやかさんが、「母として妻として、日頃から家族に安心・安全なものを食べさせたい、と思っております。これらは私たちの思いの込められた署名です」と述べ、厚労省担当者へ署名を手渡しました

厚生労働省、農林水産省、環境省、消費者庁に思いを込めた署名を提出しました

グリーンコープは、食の安全を脅かし生物多様性を破壊する遺伝子組み換え作物に反対する運動に取り組んでいます。

また、事前に提出していた「ゲノム編集食品の安全性・制度・表示に関する質問」について、厚労省、農林水産省、環境省、消費者庁から回答がありました。

農民を代表して

当日講師の一人として、農民運動全国連合会の齋藤敏之さんが意見を述べました。

ゲノム編集技術がどう見ても、農民に必要なからつくっている技術ではありません。企業が農業と化学肥料をセットにしてお金を儲けるための種を作り、それを農民に使いなさいというものになっています。

遺伝子組み換え技術の問題の一つには、明らかに収量が減って来たことがあります。土壌にいる微生物が劣化し、収量の低下に繋がっていることは、数々の論文で述べられています。

ゲノム編集技術についてまだよく分かっていない段階で、できたものは安全だという国の評価には、人間としての驕りがあるのではないかと思います。国として安全性に責任が持てるのであれば、堂々とゲノム編集したものだとして表示していくことが必要だと私は思います。

台風21号・北海道胆振東部地震災害支援カンパへの協力ありがとうございました

全体で5,852,500円のカンパ金が寄せられました。

2018年9月4日から5日にかけて、台風21号が西日本から日本海を北上し、日本列島に大きな被害をもたらしました。翌6日未明に最大震度7を記録した北海道胆振東部地震が発生しました。この2つの災害により、グリーンコープの産直生産者やメーカーにも被害が発生しました。

グリーンコープはカタログGREEN29～45号で、生産者やメーカーを応援しようと組合員にカンパを呼びかけました。組合員から寄せられたカンパの内585万円を、商品関係のメーカー・お取引先には見舞金として、生産者には今後の農業生産への支援としてお届けしました。その内訳を報告します。

カンパ金の活用状況	
贈呈額	贈呈先
10万円	十勝野フロンティア、白糠酪農会、森高牧場、エム・シー・シー食品、キヤニオンス/バイス、東洋ナッツ
30万円	鶴川農協
20万円	美瑛町農協
150万円	信濃五岳会
75万円	大塚ファーム
70万円	米沢郷牧場
60万円	ながの農協飯綱、ハゲタ会、王隠堂農園

※残る2,500円は、「グリーンコープ産直生産者災害時支援基金」に積み立てられます

種はだれのもの? 種子法の廃止が私たちの食を揺るがす?!

グリーンコープは、食の安全を脅かし生物多様性を破壊する遺伝子組み換え作物に反対する運動に取り組んでいます。



参加者は講師の話に熱心に耳を傾けました

種子法の廃止がもたらす意味と遺伝子組み換え問題への影響について知るために、2018年12月12日、福岡市で2018年度種子法学習会が開催されました。

また、事前に提出していた「ゲノム編集食品の安全性・制度・表示に関する質問」について、厚労省、農林水産省、環境省、消費者庁から回答がありました。

遺伝子組み換え技術の問題の一つには、明らかに収量が減って来たことがあります。土壌にいる微生物が劣化し、収量の低下に繋がっていることは、数々の論文で述べられています。

ゲノム編集技術についてまだよく分かっていない段階で、できたものは安全だという国の評価には、人間としての驕りがあるのではないかと思います。国として安全性に責任が持てるのであれば、堂々とゲノム編集したものだとして表示していくことが必要だと私は思います。

種子法の廃止がもたらす意味と遺伝子組み換え問題への影響について知るために、2018年12月12日、福岡市で2018年度種子法学習会が開催されました。

また、事前に提出していた「ゲノム編集食品の安全性・制度・表示に関する質問」について、厚労省、農林水産省、環境省、消費者庁から回答がありました。

遺伝子組み換え技術の問題の一つには、明らかに収量が減って来たことがあります。土壌にいる微生物が劣化し、収量の低下に繋がっていることは、数々の論文で述べられています。

ゲノム編集技術についてまだよく分かっていない段階で、できたものは安全だという国の評価には、人間としての驕りがあるのではないかと思います。国として安全性に責任が持てるのであれば、堂々とゲノム編集したものだとして表示していくことが必要だと私は思います。

また、事前に提出していた「ゲノム編集食品の安全性・制度・表示に関する質問」について、厚労省、農林水産省、環境省、消費者庁から回答がありました。

遺伝子組み換え技術の問題の一つには、明らかに収量が減って来たことがあります。土壌にいる微生物が劣化し、収量の低下に繋がっていることは、数々の論文で述べられています。

ゲノム編集技術についてまだよく分かっていない段階で、できたものは安全だという国の評価には、人間としての驕りがあるのではないかと思います。国として安全性に責任が持てるのであれば、堂々とゲノム編集したものだとして表示していくことが必要だと私は思います。

ゲノム編集技術についてまだよく分かっていない段階で、できたものは安全だという国の評価には、人間としての驕りがあるのではないかと思います。国として安全性に責任が持てるのであれば、堂々とゲノム編集したものだとして表示していくことが必要だと私は思います。

また、事前に提出していた「ゲノム編集食品の安全性・制度・表示に関する質問」について、厚労省、農林水産省、環境省、消費者庁から回答がありました。

遺伝子組み換え技術の問題の一つには、明らかに収量が減って来たことがあります。土壌にいる微生物が劣化し、収量の低下に繋がっていることは、数々の論文で述べられています。

ゲノム編集技術についてまだよく分かっていない段階で、できたものは安全だという国の評価には、人間としての驕りがあるのではないかと思います。国として安全性に責任が持てるのであれば、堂々とゲノム編集したものだとして表示していくことが必要だと私は思います。

ゲノム編集技術についてまだよく分かっていない段階で、できたものは安全だという国の評価には、人間としての驕りがあるのではないかと思います。国として安全性に責任が持てるのであれば、堂々とゲノム編集したものだとして表示していくことが必要だと私は思います。

また、事前に提出していた「ゲノム編集食品の安全性・制度・表示に関する質問」について、厚労省、農林水産省、環境省、消費者庁から回答がありました。

遺伝子組み換え技術の問題の一つには、明らかに収量が減って来たことがあります。土壌にいる微生物が劣化し、収量の低下に繋がっていることは、数々の論文で述べられています。

ゲノム編集技術についてまだよく分かっていない段階で、できたものは安全だという国の評価には、人間としての驕りがあるのではないかと思います。国として安全性に責任が持てるのであれば、堂々とゲノム編集したものだとして表示していくことが必要だと私は思います。

ゲノム編集技術についてまだよく分かっていない段階で、できたものは安全だという国の評価には、人間としての驕りがあるのではないかと思います。国として安全性に責任が持てるのであれば、堂々とゲノム編集したものだとして表示していくことが必要だと私は思います。

また、事前に提出していた「ゲノム編集食品の安全性・制度・表示に関する質問」について、厚労省、農林水産省、環境省、消費者庁から回答がありました。

遺伝子組み換え技術の問題の一つには、明らかに収量が減って来たことがあります。土壌にいる微生物が劣化し、収量の低下に繋がっていることは、数々の論文で述べられています。

ゲノム編集技術についてまだよく分かっていない段階で、できたものは安全だという国の評価には、人間としての驕りがあるのではないかと思います。国として安全性に責任が持てるのであれば、堂々とゲノム編集したものだとして表示していくことが必要だと私は思います。

ゲノム編集技術についてまだよく分かっていない段階で、できたものは安全だという国の評価には、人間としての驕りがあるのではないかと思います。国として安全性に責任が持てるのであれば、堂々とゲノム編集したものだとして表示していくことが必要だと私は思います。